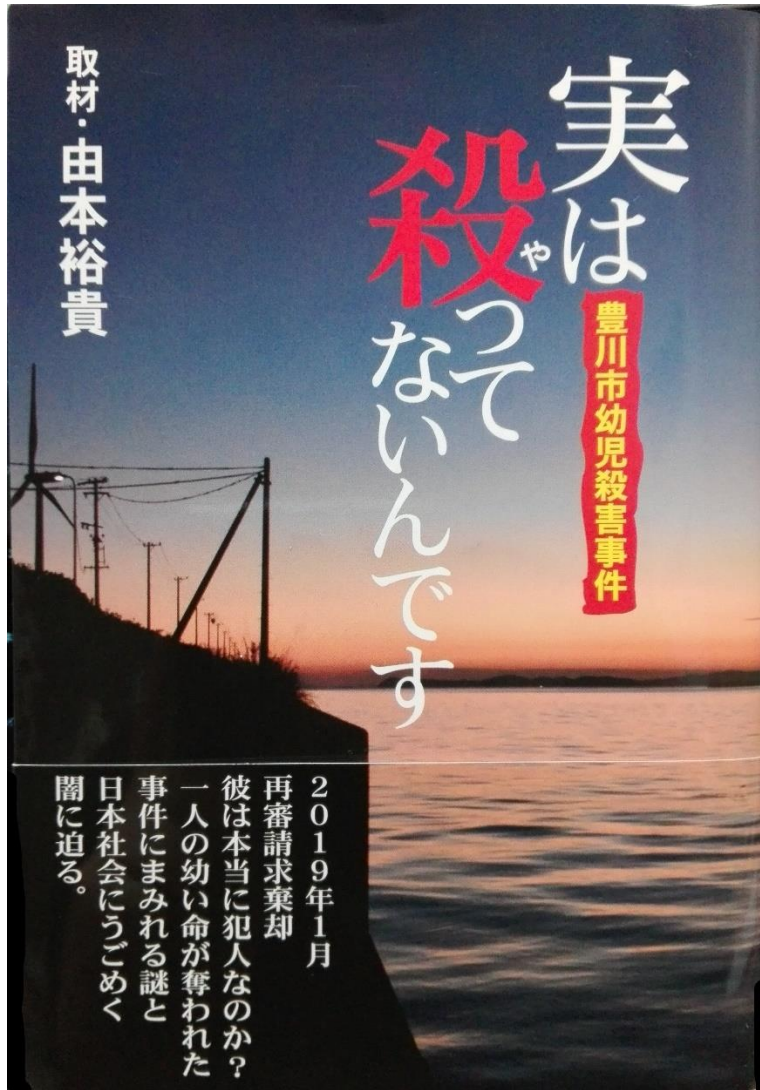


実は殺っていないんです

豊川市幼児殺害事件

著者・由本裕貴(東愛知新聞社)

定価:1620円+送料



真夜中の赤信号、見るはずのない女性、真犯人の影…

「実はやっっていないんです」。ある男のこの一言から、長い闘いが始まった。物的証拠や目撃証言はなく、男は捜査段階の「自白」のみで有罪となった。事件の舞台となった豊川市で生まれ育った地元の記者が、捜査や供述内容に散見される矛盾、支援団体の活動や男の家族への取材を通し、冤罪を生む日本社会にうごめく闇に迫った完全ノンフィクション。

第1章・殺人事件 第2章・逮捕、そして裁判へ 第3章・自白にまみれる謎

第4章・迎合 第5章・支援者 第6章・両親の闘い 第7章・再審請求棄却

ほか、弁護団長や支援者代表の手記など掲載

(186ページ)

発行：みみずく書房

印刷・製本：豊橋印刷社